

「ナリターミナルカード」 ～成田空港を国際化せよ～

東京経済大学 経済学部 経済学科 渡邊瑛彦
経済学部 国際経済学科 熊倉佳彦
経営学部 経営学科 笹本正盛



要約

海外旅行から日本に帰国した際、外貨は余りやすい。



余った外貨を日本で使用するには両替するしかないが、手数料がかかる。硬貨は両替することができない環境にある。



余った外貨を活用するために、「ナリターミナルカード」「余らせ硬貨サービス」を提案する。



目次

①現状分析

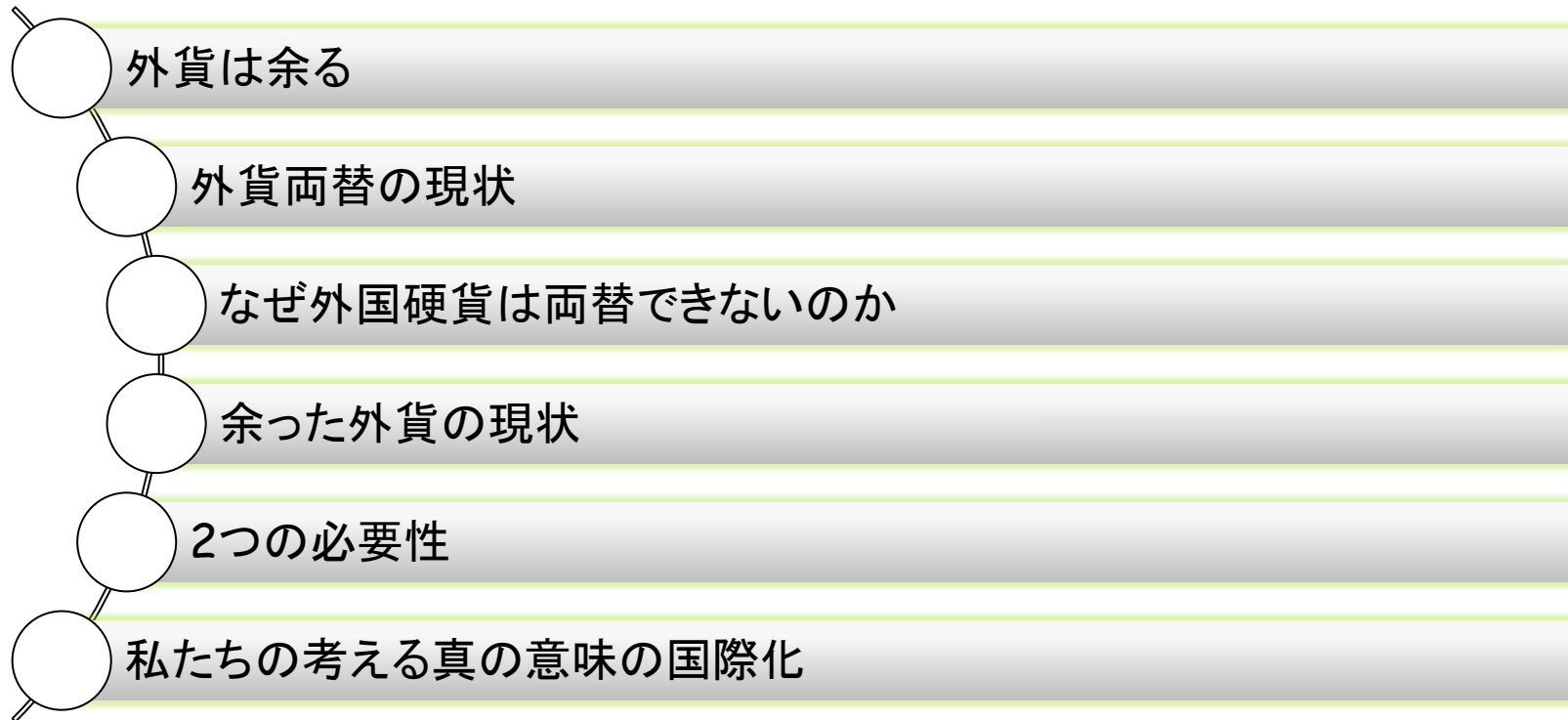
②提案

③今後の課題

④おわりに



①現状分析



外貨は余る

- 海外旅行をした際、
帰国時に外貨が余ってしまう。

※外貨とは・・・今回は外国紙幣、外国硬貨を指す。



外貨両替の現状

成田空港には外国硬貨を両替できる場所は無い。

外国紙幣には両替手数料がかかる。

外国紙幣は両替に手数料がかかるし、外国硬貨は両替できないし、外貨を持って帰るのも負担だし、困ったなあ。



両替をせずに持ち帰った。



外貨を持ち帰る負担があった。



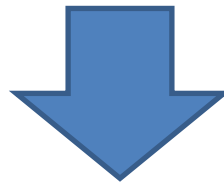
なぜ外国硬貨は両替所で両替できないのか



運送コスト



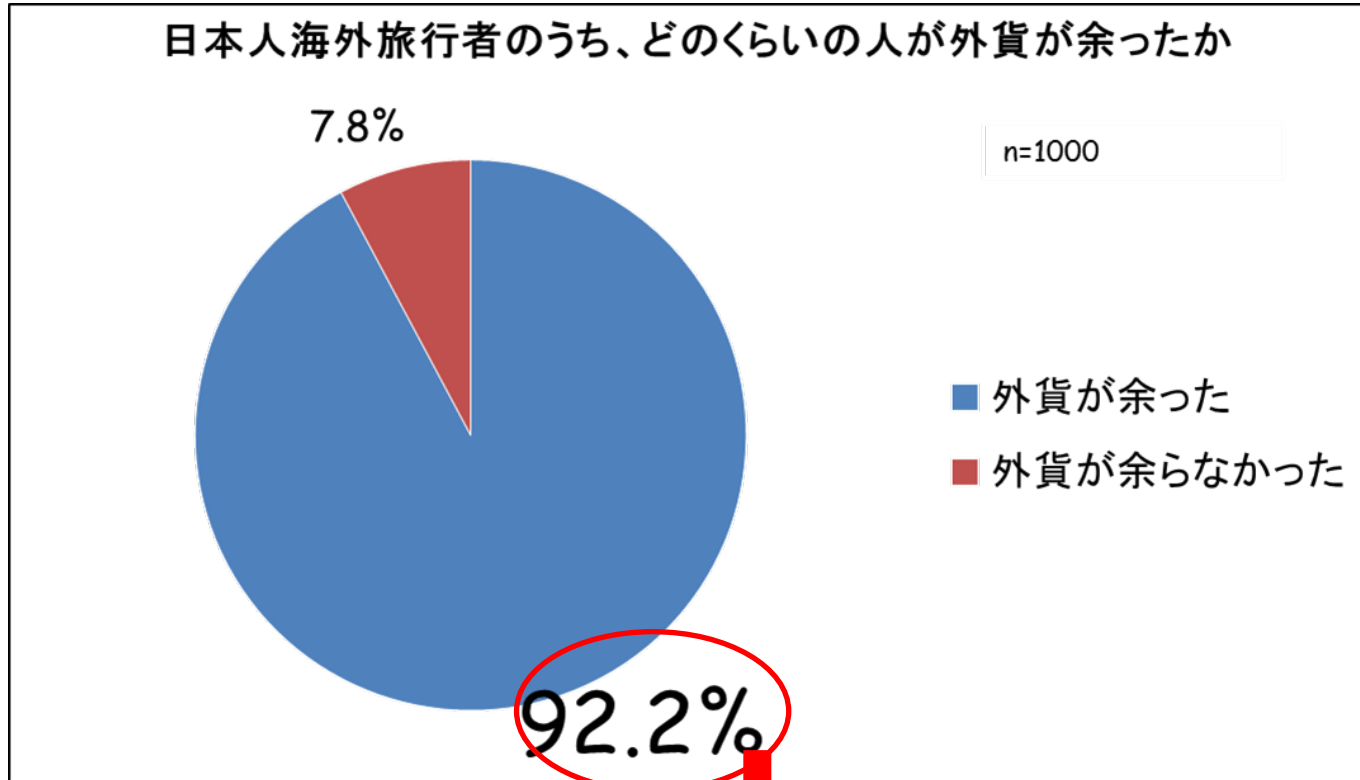
保管コスト



コストが大きい！！



余った外貨の現状



90%以上の人が外貨を余らせている。

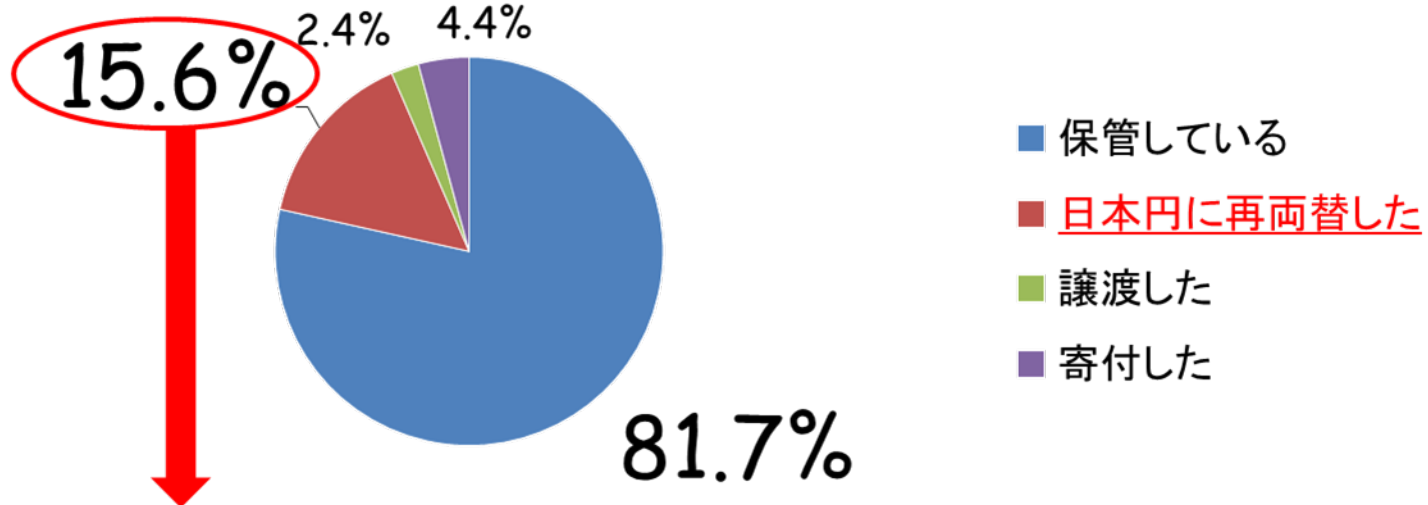
出典：株式会社旅行綜研 2012年7月～2013年6月 日本人海外旅行者の直近1年間の「余らせ外貨」より筆者作成



余った外貨の現状

2012年7月～2013年6月の海外旅行において、使い切れず余った現地通貨はどうしましたか？

n=1000



この内の80%以上の人は余った外貨を両替する内手数料を二度取られることにより、損をしたと回答している。

大半の人が両替をしていない

出典：株式会社旅行綜研 2012年7月～2013年6月 日本人海外旅行者の直近1年間の「余らせ外貨」より筆者作成



⇒結果、推計で年間約4000億円
外貨が余るとされている。

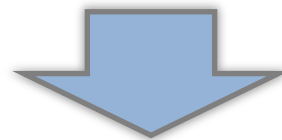
年間4000億円余っている
が、どうしたら有効活用で
きるだろうか。



2つの必要性

① 外国紙幣、硬貨ともに余らせないこと。

② 外国紙幣を両替する際、
現在よりも、両替手数料がかからないこと。



この2つが私たちが考える真の意味の国際化に
必要である。



私たちが考える真の意味の国際化

- 成田空港は、外国人旅行者が多く、様々な国と関わっていて国際化されているように見える。



- しかし、真の意味で国際化はされていない。

⇒通貨の面で国際化されていない。



国内の通貨だけではなく、他国の通貨も使用できる。



②提案



1. 「ナリターミナルカード」

2. 「余らせ硬貨サービス」



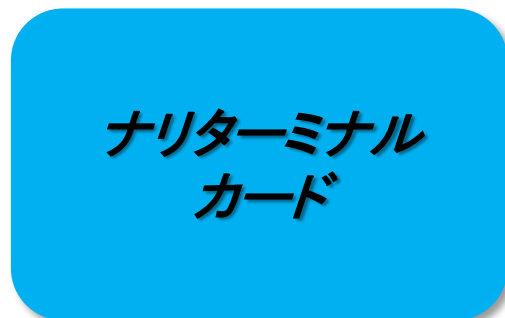


1. 「ナリターミナルカード」

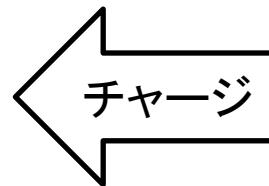


「ナリターミナルカード」とは

- ドルとユーロの外国紙幣、外国硬貨をポイントに変換してチャージできる。
- そのポイントを使用して、空港内の店舗でいつでも商品の購入ができる。

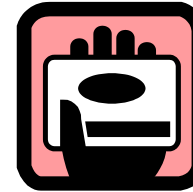


△△ポイント



イメージ図

タッチ式機能

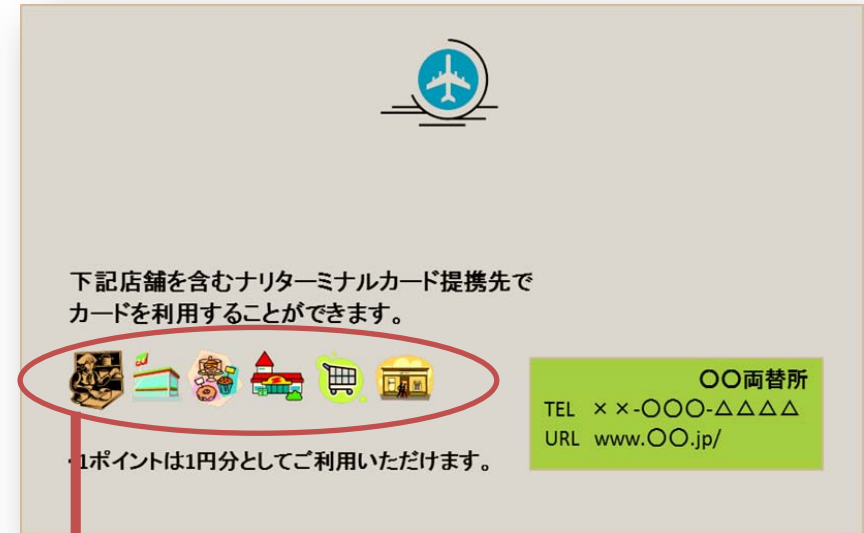


表

裏



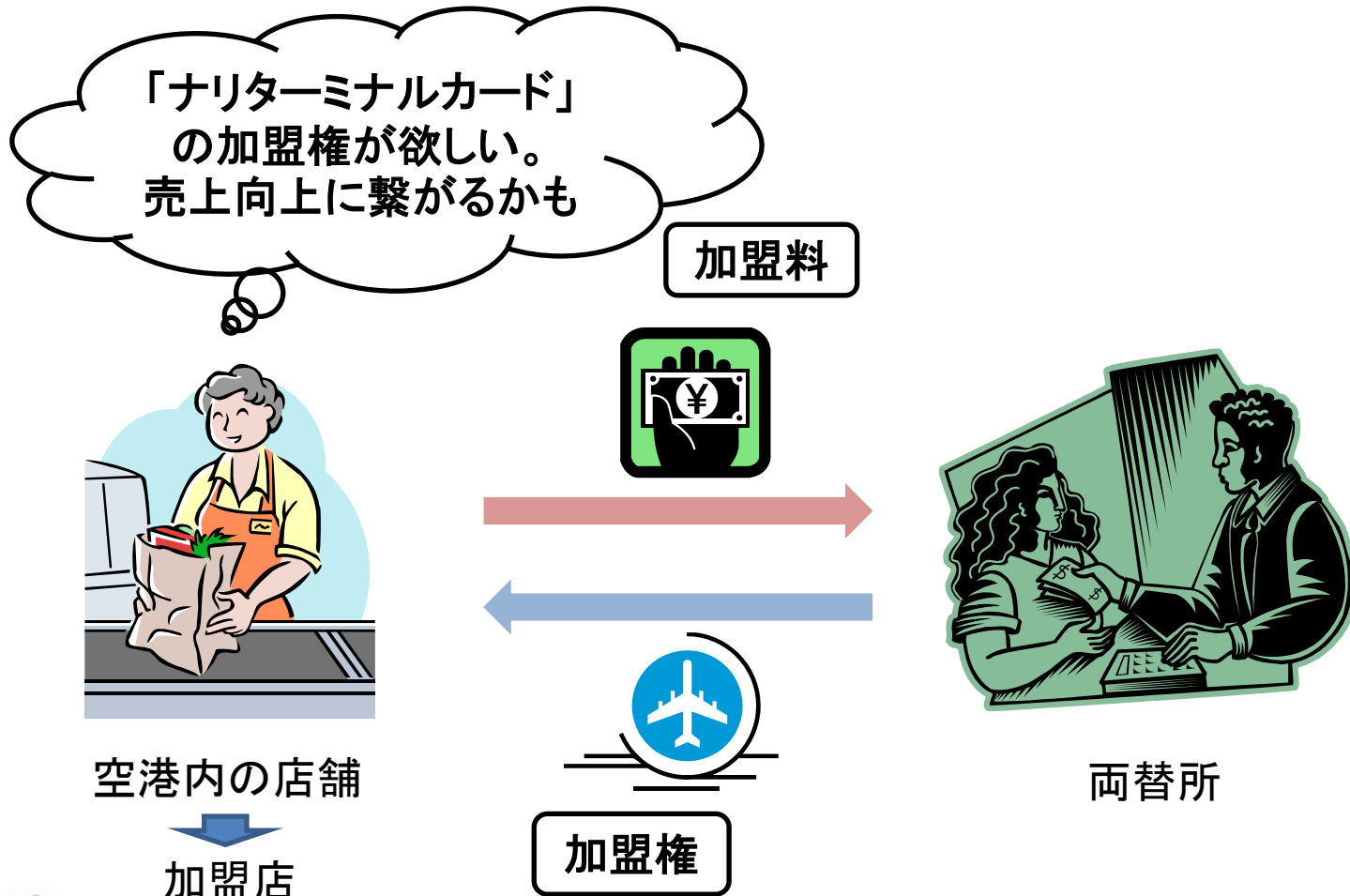
ドルとユーロのみチャージ可能



利用できる加盟店の表示



加盟権の取得



外貨のポイントへの変換ルール



1ポイント=1円

外国紙幣をチャージする場合



- 為替レートは日付毎のレート。
- 為替レートの小数は切り捨て。

– 例 1ドル = 100.~~50~~円

両替所の利益

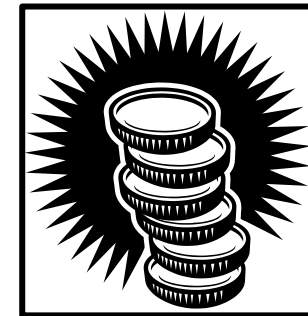


外貨のポイントへの変換ルール

外国硬貨をチャージする場合

- 硬貨1枚につき1ポイント。

硬貨の種類も多いし、金額の計算も大変だけど、硬貨の枚数を数えるだけなら負担は少ないのかな。



具体例



種類	枚数
5ドル札	1枚
1ドル札	11枚
25セント	5枚
10セント	8枚
5セント	7枚
1セント	9枚

※1ドル=100.50円

(仮に、本日11月30日の日本全体の為替レートとする)



硬貨は全部で29枚



「ナリターミナルカード」の場合



※1ドル=100.50円



5ドル札 × 1枚 1ドル札 × 11枚

25¢ × 5枚 10¢ × 8枚
5¢ × 7枚 1¢ × 9枚



計16ドル



計29枚



1600ポイント



29ポイント

合計1629ポイント



両替する場合



※1ドル=100.50円
※両替手数料3%の場合



5ドル札×1枚 1ドル札×11枚

25¢×5枚 10¢×8枚
5¢×7枚 1¢×9枚



計16ドルー両替手数料

両替できない



1559.76円

0円

合計1559円



両替の比較

「ナリターミナルカード」
を使用した場合

1629ポイント使える。

手数料は両替よりも取られない
ため、使用できるポイントが多い。

硬貨も使用できて、
持ち帰る負担がない。



両替した場合

1559円使える。

両替に手数料が取られるため、
使用できるお金が少ない。

硬貨が両替できず余り、
持ち帰る負担がある。



「ナリターミナルカード」の方が
外貨を有効活用できる！



「ナリターミナルカード」のメリット

日本人海外旅行者

- 余った外貨を持ち帰る負担が無い。
- 成田空港内の加盟店で商品の購入が可能。
- 両替するよりも手数料がかからない。

加盟店

- 普段行かなかったお店が加盟店になることで、新規顧客が増える。
- ポイントが消費され、売上の向上につながる。

両替所

- 加盟店から加盟料が取れる。
- 「ナリターミナルカード」の利用により、新規顧客が増える。

**しかし、両替所には外国硬貨がたまってしまう！
⇒解決方法が必要！**





2. 「余らせ硬貨サービス」



「余らせ硬貨サービス」とは

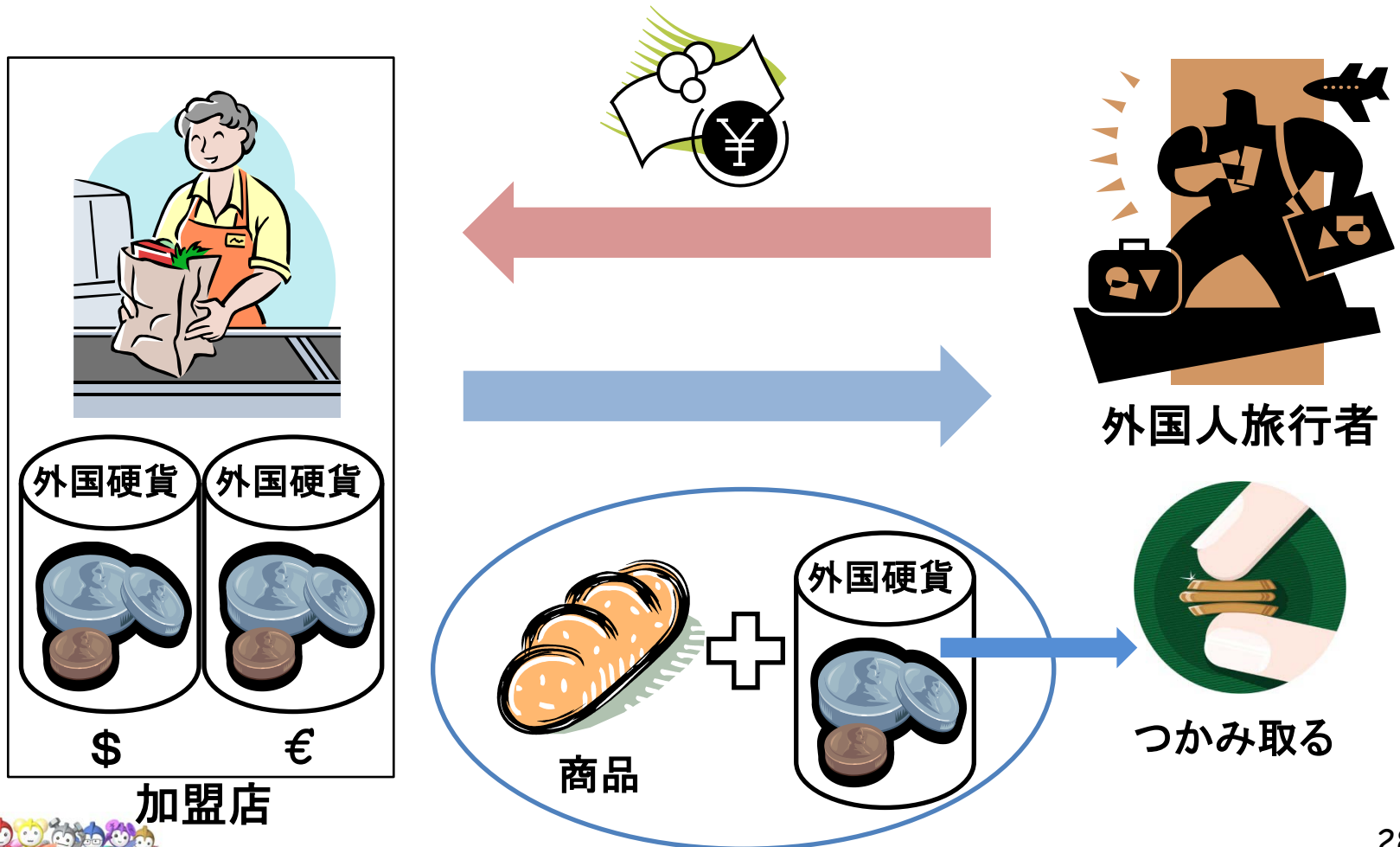
外国硬貨を取ってもらえる箱を「ナリターミナルカード」の加盟店のカウンターに設置する。

外国人旅行者が加盟店で商品を購入する。

加盟店のサービスとして外国人旅行者がその箱から外国硬貨をつかみ取れる。



「余らせ硬貨サービス」システム



「余らせ硬貨サービス」のメリット

両替所 外国硬貨を加盟店に渡せる。

外国人旅行者 外国硬貨が貰える。

加盟店 外国人旅行者から商品が購入されやすくなる。

両替所に外国硬貨がたまらなくなる！



③ 今後の課題

提案で利用できる通貨はドルとユーロのみのため、利用できる通貨の種類が少ないことが課題である。

「ナリターミナルカード」の普及方法と運用コストは検討すべき課題である。

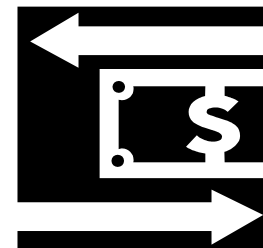
「余らせ硬貨サービス」のうち、外国人旅行者がこのサービスを利用する需要が明確ではない。さらにはこのサービスで、両替所にたまった外国硬貨を「処理」できる量には限界がある。



④おわりに

通貨の壁を乗り越え、余った外貨を活用することで

真の意味の国際化に一步でも
近づくことを願っている。



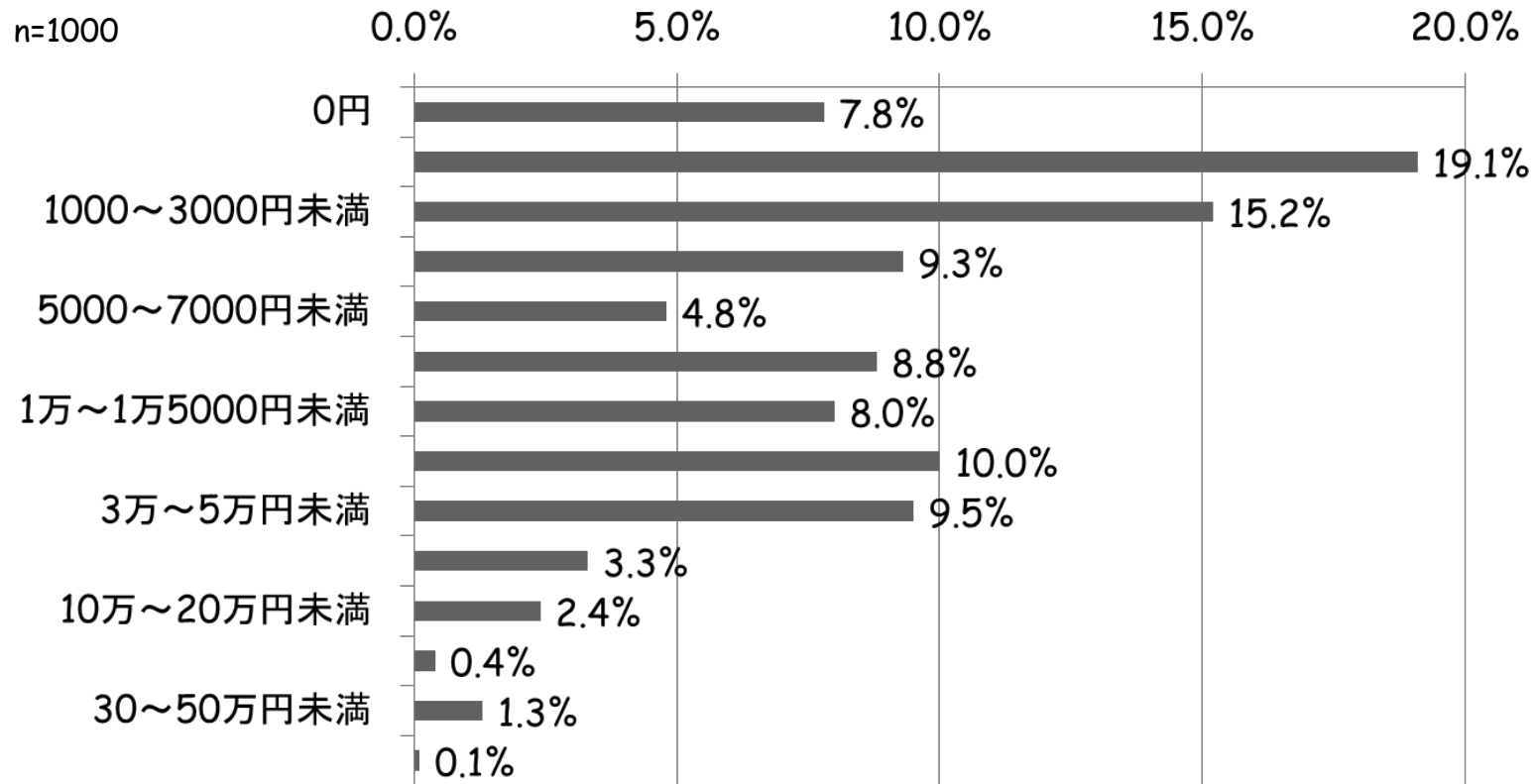
ご清聴ありがとうございました



資料



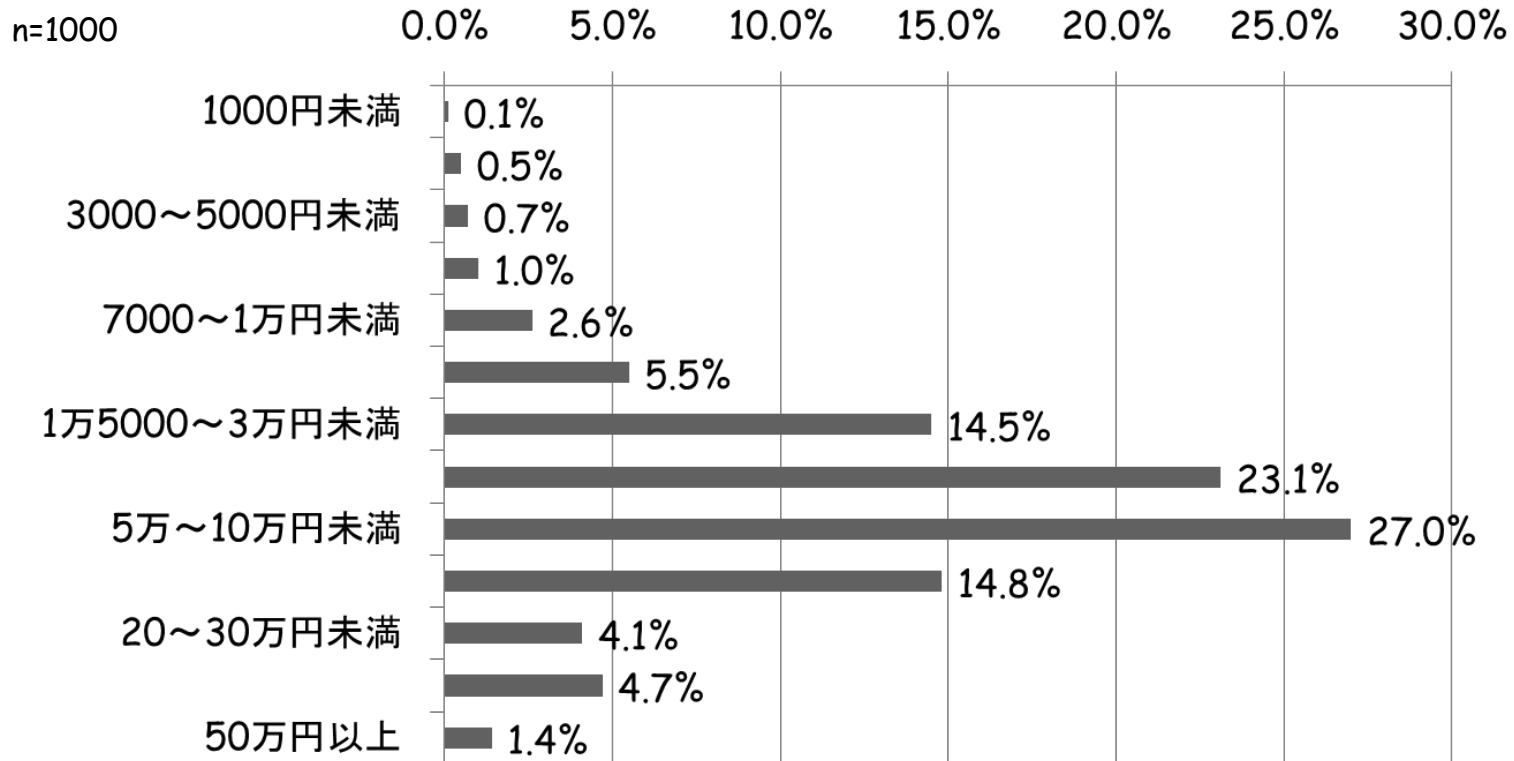
2012年7月～2013年6月の海外旅行において、使いきれず余った現地通貨は総額いくらありましたか？



出典：株式会社旅行総研 2012年7月～2013年6月 日本人海外旅行者の直近1年間の「余らせ外貨」より筆者作成



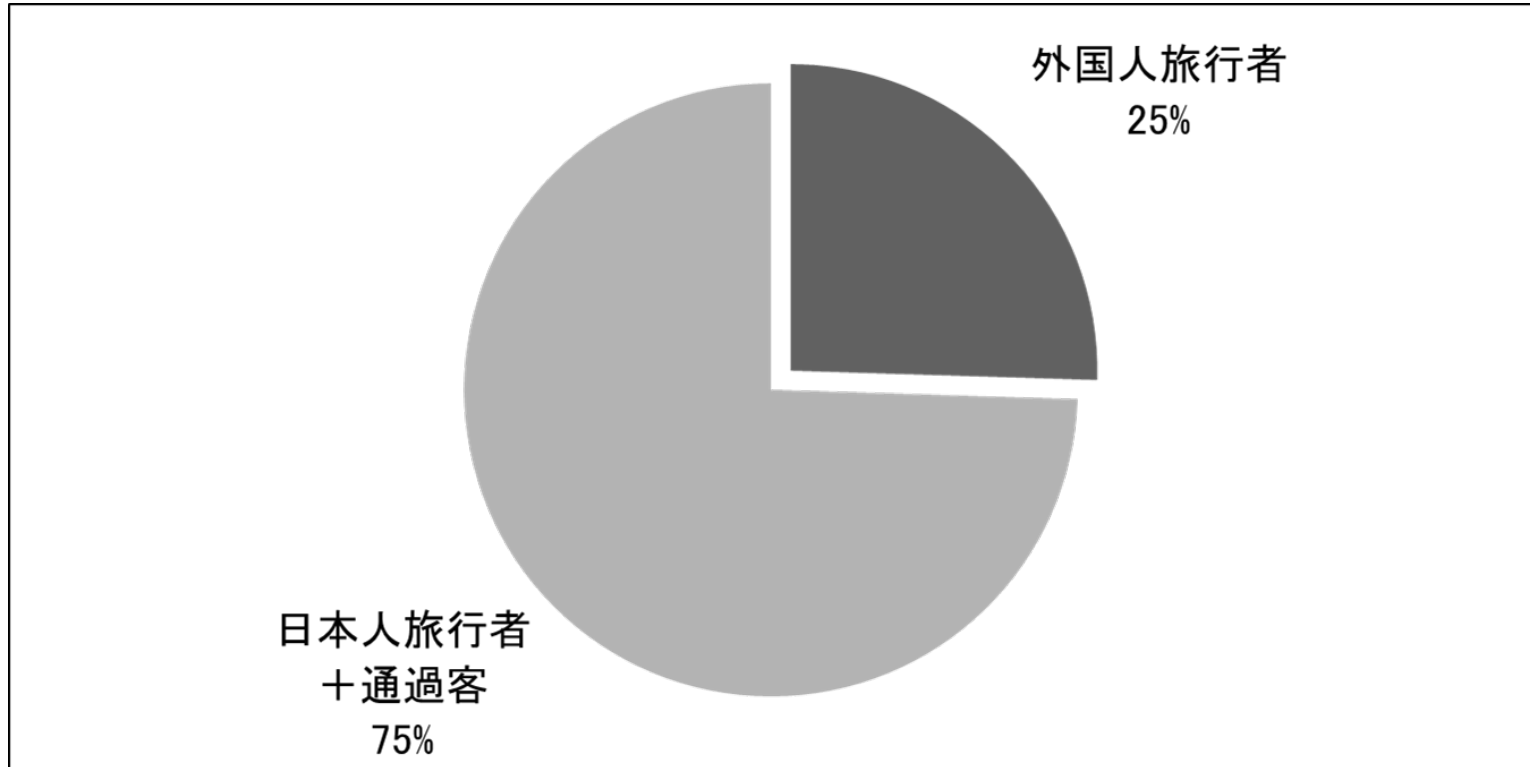
2012年7月～2013年6月の海外旅行において、総額いくら両替をしましたか？



出典：株式会社旅行総研 2012年7月～2013年6月 日本人海外旅行者の直近1年間の「余らせ外貨」より筆者作成



外国人旅行者比率



出典：成田空港株式会社「成田空港運用状況」より筆者作成



外貨両替の手数料

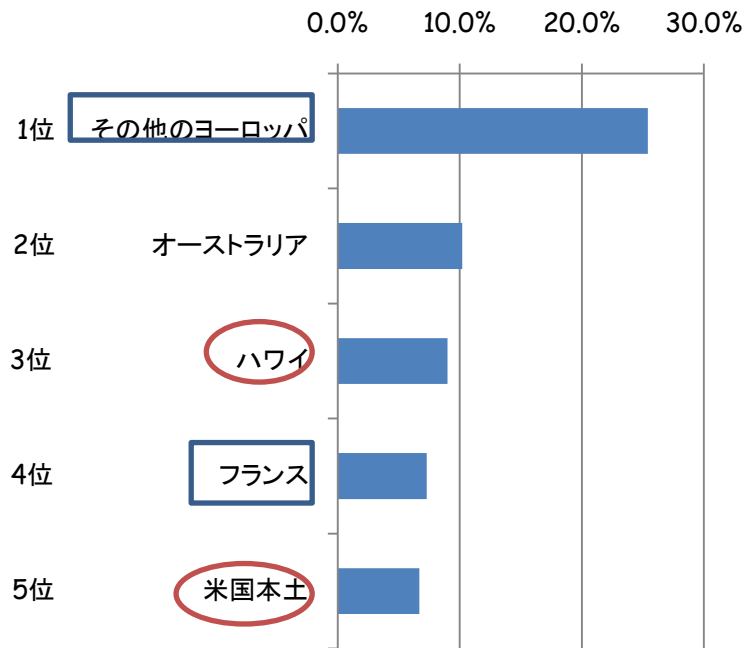
- 米ドル 約3円
(約3%)
- ユーロ 約4円
(約3%)

2013年11月15日	日本円→外貨 (手数料の割合)	外貨→日本円 (手数料の割合)
<u>千葉銀行</u>		
米ドル	3円(3%)	3円(3%)
ユーロ	4円(3%)	4円(3%)
<u>GPA</u>		
米ドル	2.34円(2.33%)	2.71円(2.70%)
ユーロ	3.98円(2.95%)	4.02円(2.98%)
<u>三菱東京UFJ</u>		
米ドル	2.8円(2.8%)	3円(3%)
ユーロ	3.99円(2.96%)	4.01円(2.97%)
1ドル=100.27円 1ユーロ=134.90円		

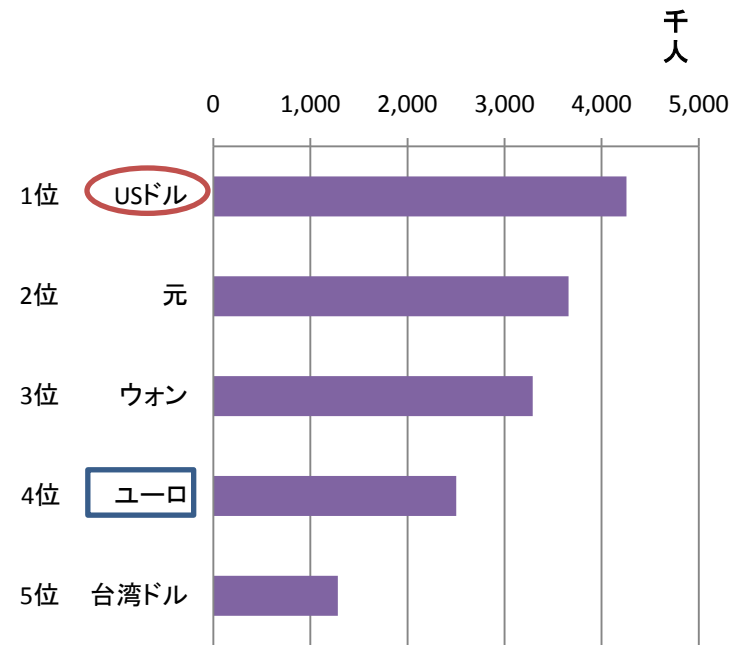


ドルとユーロを選んだ理由

今後、日本人が海外旅行に行きたい場所



日本人海外旅行者が行った国で使用されている通貨



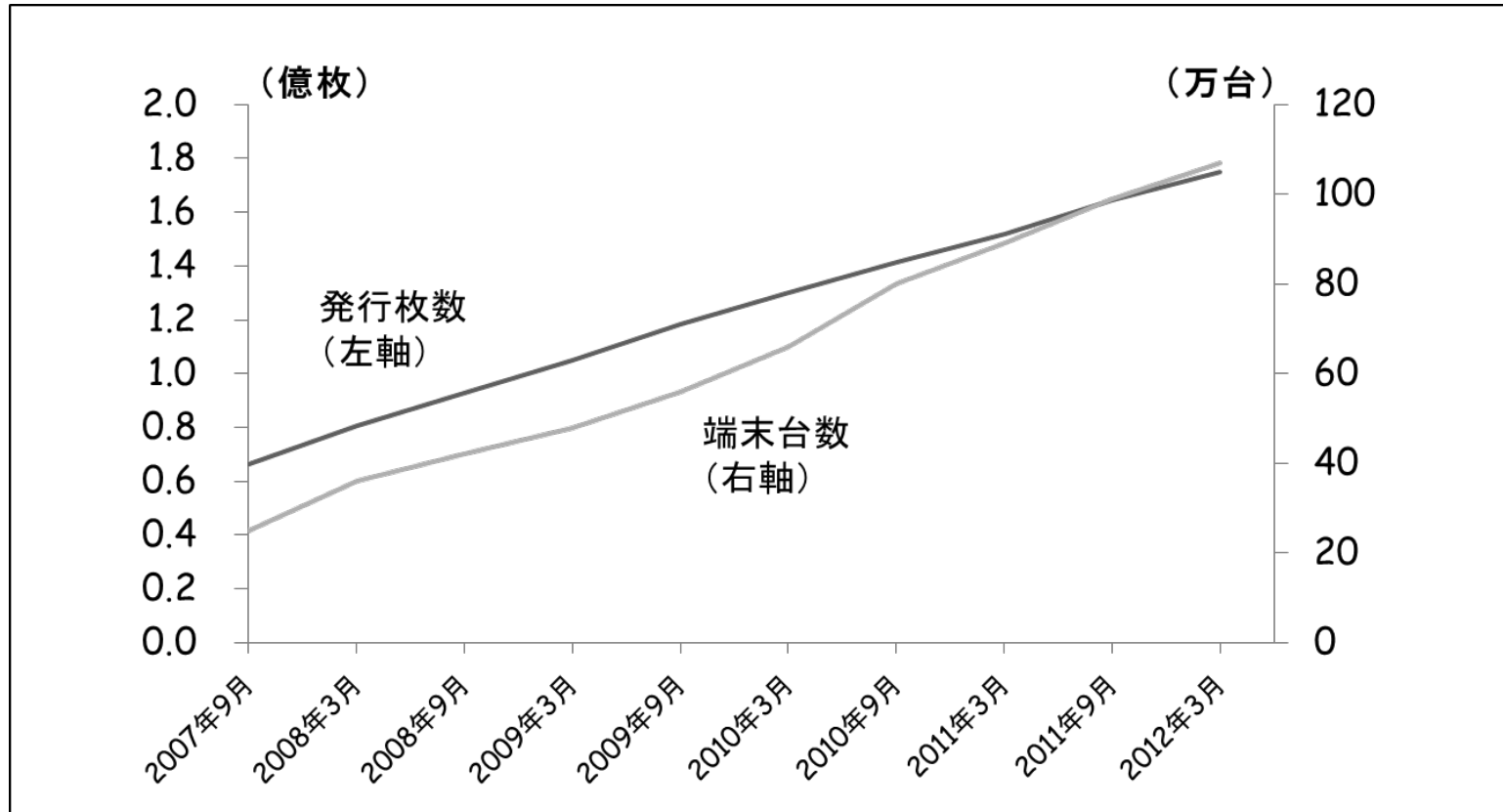
2つのグラフの重なったところからドルとユーロを選択した。

出典：国土交通省総合政策局 平成20年7月 海外旅行者満足度・意識調査より筆者作成

出典：一般社団法人 日本旅行業協会 2013年度 海外旅行者の旅行先トップ50(受入国統計)より筆者作成



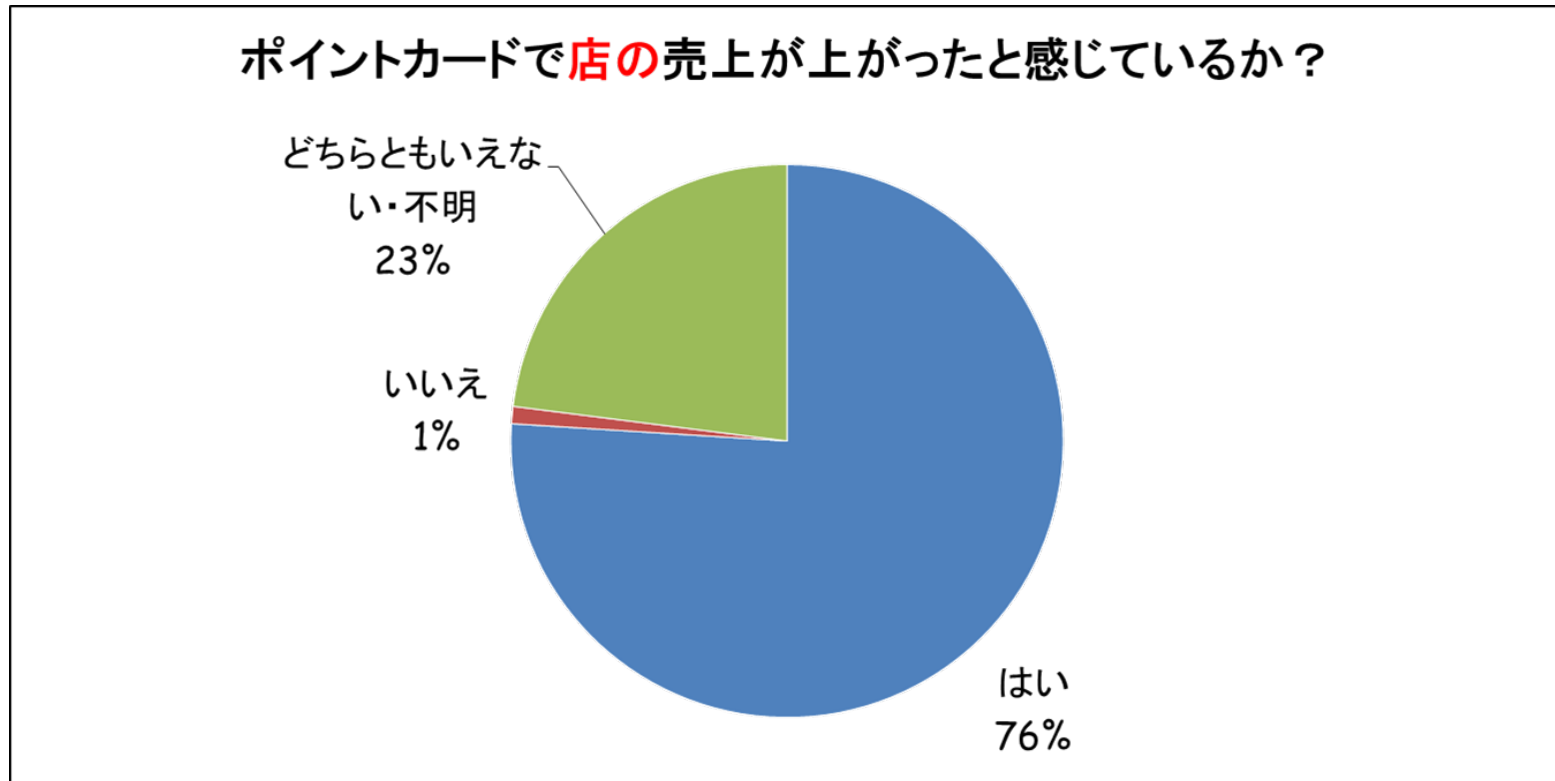
電子マネーの発行枚数、端末台数



出典：日本銀行決済機構局 最近の電子マネーの動向について(2012年)より筆者作成

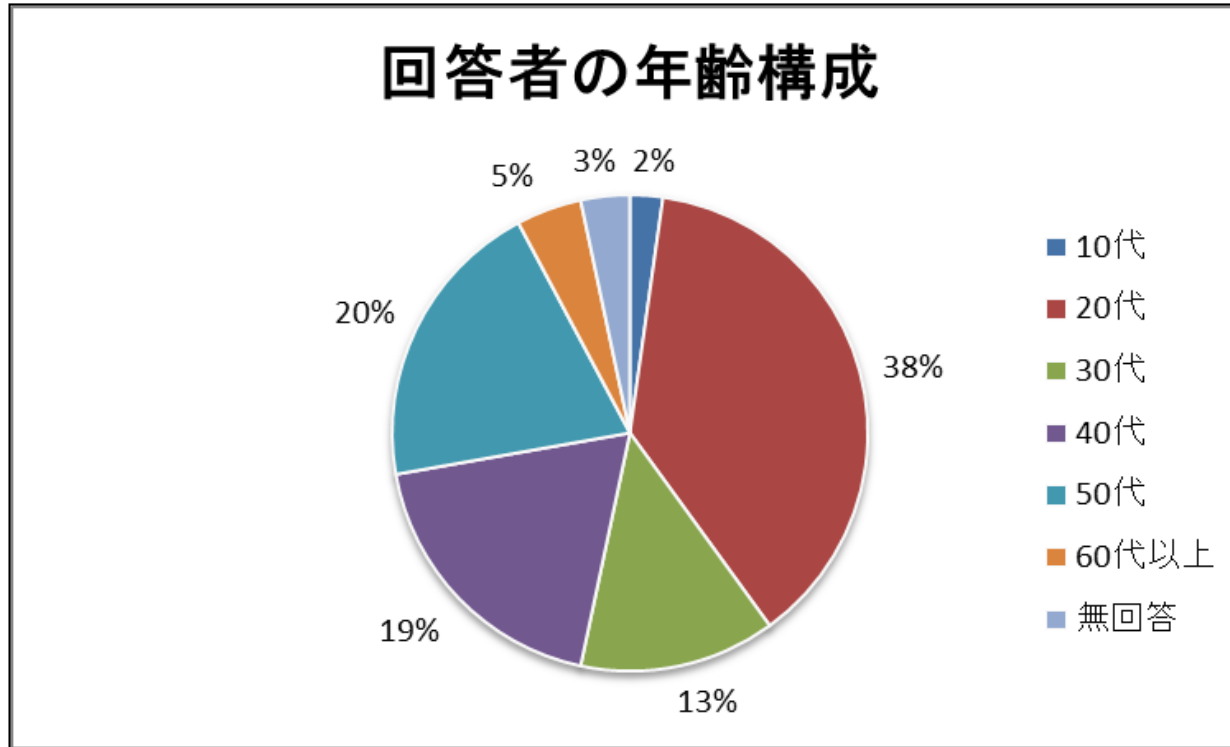


ポイントカードの売上UP効果



出典：株式会社矢野経済研究所 ポイントサービス市場に関する調査結果 2011より筆者作成





調査場所 成田国際空港第2ターミナル
東京経済大学
中央大学



アンケート調査

10代から60代以上の海外旅行に行った男女90人を対象に調査

海外旅行に2回以上行ったことがある 83.3%
海外旅行にまた行きたい 96.7%



海外旅行のリピーターが多いと
思われる。



アンケート調査

10代から60代以上の海外旅行に行った男女90人を対象に調査

日本に帰国した際、余った外貨の扱いに困った 66.7%



余った外貨に不満を抱いている人は
少なくない。



アンケート調査

10代から60代以上の海外旅行に行った男女90人を対象に調査

「ナリターミナルカード」を利用したい 90.0%

外貨を両替できない環境にある。

「ナリターミナルカード」に需要がある。

